

poco a poco

パラグアイ便り 2023/08/01 Número6

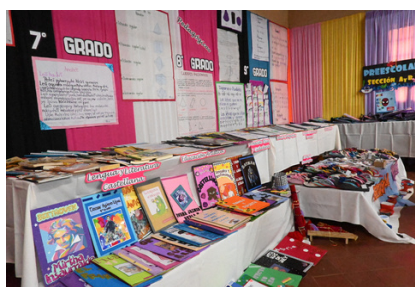
2022年度 青年海外協力隊

氏名：吉田 花純

職種：小学校教育

【一学期が終了しました】

私の配属先の学校では、7月5日に一学期の終業式が行われ、7月7日に通知表が手渡されました。そしてその後、2週間の冬休みがありました。終業式の会場には子どもたちのノートや作品などが華やかに展示されました。自由参加ではあるものの多くの保護者の方々が会場へ足を運び、展示物や出し物（ダンスや頑張ったことの発表等）を眺めたり、スマートフォンでたくさん写真や動画を撮ったりするなど、終始笑い声や拍手が途絶えることのない“まるでパーティー”といった印象の賑やかな式でした。粛々とする日本の終業式との大きな違いを感じました。



【地域のお祭りに参加しました】

7月10日～7月23日までの2週間は冬休みでした。前半には市が主催のお祭りが一週間毎日連続で開催され、私もそれに参加しました。その期間は夜から朝方にかけて、毎日寝付けないほど爆音の音楽が鳴り止みませんでした。

普段から時間帯を選ばず自分の好きな曲を大きな音で流す習慣があるパラグアイです。気持ちよさそうな歌声や、ギターの音色などもよく聞こえてきます。お互い様であるためか、近所迷惑などという概念はありません。むしろ聞こえてきた音楽に合わせて曲を口ずさんだり、ダンスをしたりするなど、音楽を心から愛しているようです。家の中にも、歌詞がはっきりと聞こえてくるほどのボリュームで夜中や朝方にも曲を流している人が多いため、私も今ではイントロダクションを聞いただけで「あの曲だ！」と人気の曲がわかるようになりました。

そんな予習済みのパラグアイの流行曲や伝統曲が、市役所前の特設ステージから毎日一晩中聞こえてきました。ステージ周辺には、多くの市民や観光客が集まりました。音楽をじっと座って聞いていられなくなった人からステージ前へ駆け寄り、思わずダンスを始める。“みんな友達”といった具合に、知らない人や私のような外国人とでも手を取り合って踊ることができる。そんな陽気で寛容なパラグアイの人たちのこと、とても素敵だと感じています。“音楽が大好きだ！”とダンスを通して全身から伝わってきます。踊り方に決まりはありません。自分が感じたように素直に、自由に踊る姿には、いつも思わず引き込まれてしまいます。



牛や馬のショーなどもありました。



遅い時間になるほど人が集まってきます。

【日本人居住区を訪れました】

冬休み後半を利用して、何時間も長距離バスに揺られ、ある日本人居住区を訪れました。そこには日系の方々が暮らしているコミュニティがあり、日本語・スペイン語・グアラニー語を自由自在に使い分ける方々とお話することができました。また、スーパーマーケットには値段は高いものの日本の調味料やお菓子等が売られていたり、お世話になった民宿では久しぶりに日本食を口にすることができたりするなど、涙が出るほど幸せを感じました。私には食べ物の好き嫌いはありません。パラグアイ料理もとても美味しく大好きです。しかし、ふるさとの味、母の味は時々どうしても恋しくなるものです。



普段自分が暮らしている場所はとても田舎的な印象が強いですが、訪れた先はそれ以上に自然が豊かな場所でした。夜になると、周囲に建物や灯りがほとんど無いため、満点の星空を眺めることができました。

パラグアイで桜が見られるなんて思ってもみませんでした。日本の桜と台湾の桜が掛け合わされた種類の桜が満開に咲いていました。色が薄い花が日本、濃い花が台湾の桜です。写真で、見つけてみてください。



【ニャンドウティ作りに挑戦】

「poco a poco第4号」に写真を載せていた伝統工芸品ニャンドウティ（蜘蛛の糸を意味します）作りに挑戦し始めました。刺繍のように針と糸を使って作ります。アイデア次第で、色の組み合わせやデザインは無限大です。使う糸を選ぶ段階から楽しむことができます。初回は一番簡単と言われているデザインに挑戦しましたが、糸を引っ張る力の加減などが難しかったです。これから少しずつ上達して、自分好みの作品を作れるようになりたいです。



初めて作ったニャンドウティ



スペイン語で教えてもらうので、
言語の勉強にもなります。

【ひとこと】

気が付けば、パラグアイに到着してからあっという間に半年が経ちました。おかげさまで、体調を崩すことなく元気に生活できています。生活しているだけでは全く上達していかない自分の語学力には本当にうんざりですが、そんな私に歩み寄り、気持ちを汲み取ってくれようとする心優しいパラグアイの人たちに助けてもらってばかりです。

活動も本格的に始まっており、日々やるのがたくさんあるということは、ボランティアとしては有難い限りです。同時に安心して話せる人、安心してくつろげる場所・・・そういったものが少しずつ増えてきたことを嬉しく思います。

これからは、すべてが新鮮で良いと感じられた時期とは打って変わって、自分自身の中で葛藤することが増えていくのだらうと思います。冷静に客観視できるようになったが故に、気が付かなかった事実や価値観にも触れることになるでしょう。

時々、休憩や回り道をしながらも、ゆっくり前へと足を進ませていきます。

